

錦帯橋世界遺産セミナー これまでの開催



第1回 2019年8月
「錦帯橋の保存管理
～岩国の宝を守り継ぐ～」



第2回 2021年12月
「錦帯橋における
オーセンティシティ（真実性）」
☆講演部分をオンデマンド配信

全国木橋サミット
これまでの開催地

- 2017年8月 第1回 青森県鶴田町
- 2019年12月 第3回 山口県岩国市
- 2018年9月 第2回 福島県会津若松市
- 2022年11月 第4回 石川県加賀市
- 2023年10月 第5回 徳島県三好市

2025年1月13日

第3回 錦帯橋世界遺産セミナー × 第6回 全国木橋サミット in 岩国

錦帯橋世界遺産登録推進
PRキャラクター

MIHASHI TOWA
美橋 とわ

私は、錦帯橋を擬人化したキャラクターとして、令和元年に作成した錦帯橋世界遺産登録推進PRポスターに描かれて誕生しました。令和5年10月の錦帯橋創建350年記念イベントでは、市内の小学生が、美しい錦帯橋が永遠に存在し続けることを祈って考えた「美橋 とわ」が、私の愛称として決まりました。とても素敵な愛称で本当に嬉しく思っています。この愛称に込められた思いに負けないよう、末永く愛されるキャラクターとして活躍できるように頑張ります！そして、今年度は私の新デザインができました♪新デザインにも、擬人化キャラクターらしく、錦帯橋のポイントが満載で気に入ってます。これからも錦帯橋を知ってもらうために私も頑張るから、みなさんも錦帯橋の世界遺産登録を応援してください。美橋 とわ



錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会ホームページのご案内

ホームページでは、国際シンポジウムや世界遺産セミナーの動画を視聴することができます。右の二次元コードからぜひご覧ください。また、本日の講演も後日、配信予定です。



錦帯橋を世界遺産に！

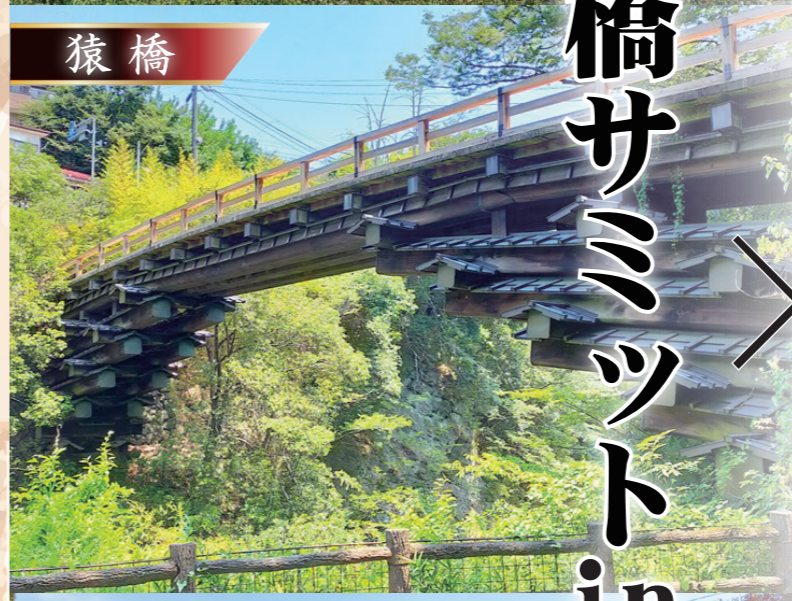
錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会 事務局
岩国市文化スポーツ振興部錦帯橋課世界遺産推進班

〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14-51 ☎0827-29-5107
✉ kintaikyo@city.iwakuni.lg.jp https://kintaikyo-bridge.jp/

上津屋橋



猿橋



佐久間橋



～令和6年度～
全国木橋サミット in 岩国
錦帯橋世界遺産セミナー

テーマ

木橋の魅力

錦帯橋

開催日時

令和7年1月13日 祝

14時～17時（受付13時30分～）

会場

岩国市民文化会館 小ホール
岩国市山手町1丁目15-3

【主催】 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会

【共催】 公益社団法人土木学会木材工学委員会 【後援】 岩国ユネスコ協会、一般社団法人木橋技術協会

錦帯橋を世界文化遺産に推す会、一般社団法人岩国市観光協会、岩国商工会議所、錦帯橋世界文化遺産専門委員会、山口県、山口県教育委員会、岩国市、岩国市教育委員会



きんたいきょう

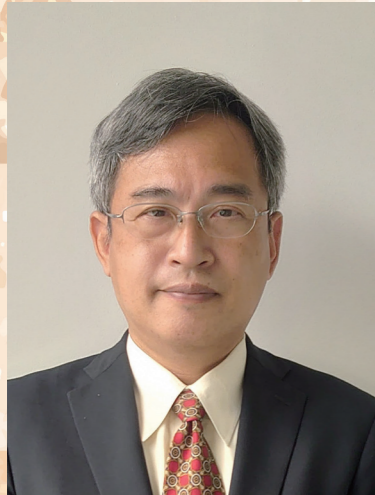
錦帯橋 (山口県岩国市) 創建：1673年、全長：193.3m、幅：5.0m

**世界唯一の構造によって「流されない橋」を実現
日本三奇橋、日本三名橋に数えられる**

川幅約200mの錦川に架かる5連の橋で、豊かな自然を背景として、国の名勝にも指定されている。中央3つの橋の木造アーチ構造は世界に例がなく、この傑出した構造により35.1mの長い径間を実現し、両端の桁橋と組み合わせて5径間の形式で完成させた。修復と架け替えを重ねながら、その美しい姿と人を渡し続ける機能を持続させ、地元住民のアイデンティティや誇りとなっている。現在、この岩国の宝を人類共通の宝である世界遺産として未来に継承するため、世界遺産登録に向けた活動を行っている。

プログラム

- 13時30分 開場・受付
- 14時00分 開会
- 14時15分 講演 **「木橋の魅力と錦帯橋」**
講師 渡辺 浩氏
- 15時10分 パネルディスカッション
「木橋の魅力を後世に継承」
コーディネーター 渡辺 浩氏
パネリスト
 - 上津屋橋**
京都府建設交通部道路建設課 今井 裕登氏
 - 猿 橋**
大月市教育委員会社会教育課 稲垣 自由氏
 - 佐久間橋**
株式会社特殊高所技術 山脇 裕氏
 - 錦帯橋**
岩国市文化スポーツ振興部錦帯橋課 沖野 理恵氏
- 17時00分 閉会



渡辺 浩氏 福岡大学教授、博士(工学)
錦帯橋世界文化遺産専門委員会副委員長

- 専門：橋梁工学、木橋、木材利用、市民防災
- 熊本大学大学院工学研究科修了後、熊本大学助手を経て現在に至る。
- 2009年度の錦帯橋世界文化遺産専門委員会設立時から委員として、錦帯橋の世界遺産登録に向けた検討を行う。
2011年度からは副委員長に就任する。
- 木橋技術協会認定木橋アドバイザーとして、全国各地の木橋の相談に応じている。



こうづやばし

上津屋橋 (京都府八幡市～久御山町) 創建：1953年、全長：356.5m、幅：3.3m

**橋桁を流す逆転の発想！
通称「流れ橋」**

京都府南部を流れる木津川に架かる木造橋であり、時代劇のロケ地としても数多く使われている。川が増水すると、橋脚にワイヤーロープでつながっている橋板や橋桁が水面に浮いて流れ、橋への負担を軽減するとともに、水の流れを阻害しない独特の構造を持っている。戦後間もない時期に、コストを抑えて洪水による損害が少ない橋を架けるという課題に対して、当時の技術者が知恵を絞って解決したことが想像できる。

**錦帯橋と並ぶ日本三奇橋の一つ
発想は猿？**

桂川の深く美しい渓谷に架かる橋で、自然景観との見事な調和から国の名勝に指定されている。橋脚を使わずに、鋭くそびえ立つ兩岸から張り出した四層のはね木によって支えられている。珍しい構造の起源は定かではないが、西暦600年頃、深い渓谷に何度も阻まれてきた橋の建設をあきらめかけていたところ、たくさんの猿がつながりあって対岸へと渡っていく姿からヒントを得たという伝説が残っており、名前の由来になったとも言われている。



さるはし

猿橋 (山梨県大月市) 全長：30.9m、幅 3.3m



さくまばし

佐久間橋 (和歌山県田辺市) 創建：1955年、全長：50.3m、幅：1.65m

**地域にとどまらず日本最恐の噂も!?
通行定員1名の吊橋**

田辺市の山奥を流れる日高川に架かる吊橋で、「野々垣内の吊橋」とも呼ばれている。吊床版橋では珍しい2径間になっている。構造的によく揺れるため、絶叫しそうなほどのスリルが味わえる吊橋の一つとして有名で、テレビで紹介されたり、YouTubeに渡ってみた動画が投稿されたりしている。1名しか渡ることができず、揺らすなどの危険な行為は禁止されている。